

# 麻生リハビリ総合病院だより



<https://www.souseikai.net/rehabilitation>

総生会 理念 常に最善を飽くことなく追求し 質の高い安心の医療を提供する

## 桜の名所『麻生川』にほど近く、四季を感じられる環境です



病院のまわりは桜並木があり、満開の桜を見ながら歩行訓練ができます

当院は、神奈川県で最大規模の回復期リハビリテーション病院で、180床すべてが回復期リハビリテーション病棟となっております。リハビリスタッフは約130名在籍し、メインのリハビリ室(470㎡)のほか、2019年に新設されたADL室(日常生活を訓練するための部屋)やST室(言語、高次脳訓練をおこなう個室)を完備。日常生活動作の維持・改善効果の高いリハビリを365日提供することが可能であり、中でも在宅復帰率は、施設基準である70%を大きく上回る80%以上と高い水準をキープしております。

患者様の在宅復帰を目指し、医師・看護師・リハビリスタッフ・薬剤師・医療ソーシャルワーカー・管理栄養士等が、回復期という大切な入院生活を最大限有効に過ごせるようチームアプローチを実践し、患者様に寄り添った医療を心がけております。

当院のリハビリスタッフは患者様の担当制を導入しており、患者様と顔を合わせる機会が多く、深いコミュニケーションを取ることができるとともに、チームアプローチの面でも職種の壁なく情報を共有しやすい、といったメリットがあります。そのため、患者様一人一人に合わせて充実したリハビリを提供することが可能となっております。

退院後の生活に向けて家屋調査や家族指導(ご自宅でのように介護をしたらよいかなど)をご案内したり、退院後フォローの必要な方には、外来リハビリや訪問リハビリも行っております。予防のための**ロコモ健診**もスタートし、幅広いサービスをご利用いただけます。

歩行訓練のコースです  
川沿いも桜が満開!



## ロコモ健診とは?



立つ・歩く・作業するといった運動に必要な筋肉や骨、関節に障害がでてしまい、身体能力が衰えた状態をロコモ(ロコモティブシンドローム)といいます。ロコモ健診では、経験豊富な理学療法士が立つ、歩くといった運動機能が低下していないかを計測するほか、筋力やバランス能力、歩行能力のチェックをおこない、体操や日々注意すべき点をアドバイスさせていただきます。また、管理栄養士が筋肉量アップ、丈夫な骨をつくるための食事など、気になることを患者様と一緒に解決いたします。

ただいま計測中!



明るく開放的な  
リハビリ室



## 当てはまることはありませんか??

- ☆何もないところでつまづく
- ☆階段の昇り降りがづらい
- ☆筋力が落ちている自覚はあるがどうしたらいいのかわからない



## ロコモ健診 ご予約専用電話

電話: **044-981-6832**  
受付時間: 9:00~16:00(月~金曜日)  
『ロコモ健診希望』とお伝えください。  
ロコモ健診実施日: 毎週金曜日14:00~



# 2021年診療実績

# 大公開!

回復期リハビリテーション病棟とは、脳血管疾患または大腿骨頸部骨折などの病気で急性期治療を終えても、まだ医学的・社会的・心理的なサポートが必要な患者様に対して、多くの専門職がチームを組んで集中的なリハビリテーションを実施し、心身ともに回復した状態で自宅や社会へ戻っていただくことを目的とした病棟です。

退院後の生活を見据えて、起床から就寝までの間、食事や着替え、排泄、入浴など、日常的な動作も含めた入院生活そのものをリハビリと捉え、医師、看護師、リハビリ専門職、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー、その他多職種でサポートいたします。

| 回復期リハビリテーション病棟入院料Iの実績要件    | 診療実績          | 図表番号 |
|----------------------------|---------------|------|
| リハビリテーション実績指数              | 40以上<br>52.0  | ①    |
| 自宅等に退院する割合                 | 7割以上<br>81.8% | ②    |
| 重症者の割合                     | 3割以上<br>47.9% | ③    |
| 退院時の日常生活機能評価4点(FIM16点)以上改善 | 3割以上<br>74.6% | ④    |

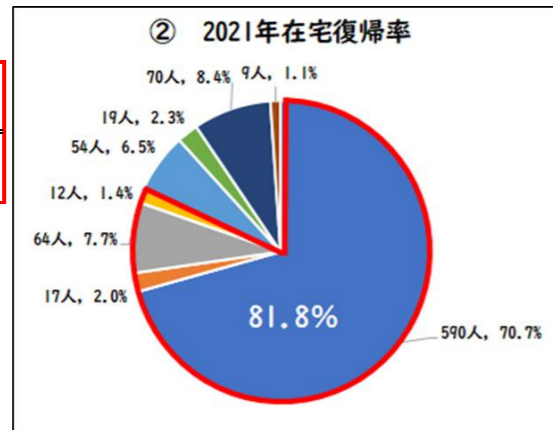
当院は川崎市No.1の回復期リハビリテーション病床数を有しており、365日を通して様々なリハビリを提供しているだけでなく、高い診療実績を上げています。

## ①実績指数

| 2020/4~<br>2020/9 | 2020/7~<br>2020/12 | 2020/10~<br>2021/3 | 2021/1~<br>2021/6 | 2021/4~<br>2021/9 | 2021/7~<br>2021/12 |
|-------------------|--------------------|--------------------|-------------------|-------------------|--------------------|
| 48.7              | 54.5               | 54.4               | 50.1              | 51.0              | 52.0               |

実績指数 40 以上の要件に対して、直近では 52.0 と大幅に上回る実績となっています。

## ② 2021年在宅復帰率



## 在宅復帰率（退院先内訳）

| 退院先     | 2021年 |        |
|---------|-------|--------|
|         | 人数    | 割合     |
| 在宅復帰    | 590人  | 70.7%  |
| 在宅復帰    | 17人   | 2.0%   |
| 在宅復帰    | 64人   | 7.7%   |
| 在宅復帰    | 12人   | 1.4%   |
| 在宅復帰    | 54人   | 6.5%   |
| 在宅復帰    | 19人   | 2.3%   |
| 在宅復帰    | 70人   | 8.4%   |
| 在宅復帰    | 9人    | 1.1%   |
| 合計      | 835人  | 100.0% |
| 在宅復帰 合計 | 683人  | 81.8%  |

## 実績指数とは

ADLの評価法の1つであるFIM（機能的自立度評価法）を用いて、入院期間中にFIM運動項目がどれだけ改善したかを指標化したものです。入院している期間が短いほど、また、ADLの改善度が大きいほど実績指数は高くなり、数値が高い病院ほど、短期間で効果の高いリハビリテーションを提供する病院と言えます。2016年の診療報酬改定で導入され、当院が届出をしている施設基準「回復期リハビリテーション病棟I」では2020年の診療報酬改定で、実績指数が40以上であることが要件とされています。また、実績指数は下記の計算方法で表すことができます。

$$\text{実績指数} = \frac{\text{退院時のFIM運動項目の得点} - \text{入院時のFIM運動項目の得点}}{\text{各患者の入棟から退棟までの日数} \div \text{患者の入棟時の状態に応じた算定上限日数}}$$

## 重症患者とは?

食事摂取や衣服の着脱、トイレ動作など患者様が日常生活で必要とする機能の状態を示す評価（日常生活機能評価）が10点以上の方のことです。総得点は0~19点で評価され、得点が高いほど自立度が低くなります。

退院した重症患者のうち、日常生活機能評価が4点以上改善した重症患者の割合または、FIMが16点以上改善した重症患者の割合

|       | 2019年 | 2020年 | 2021年 |
|-------|-------|-------|-------|
| 重症患者数 | 354名  | 410名  | 414名  |
| 改善者数  | 268名  | 288名  | 309名  |
| 改善率   | 75.7% | 70.2% | 74.6% |

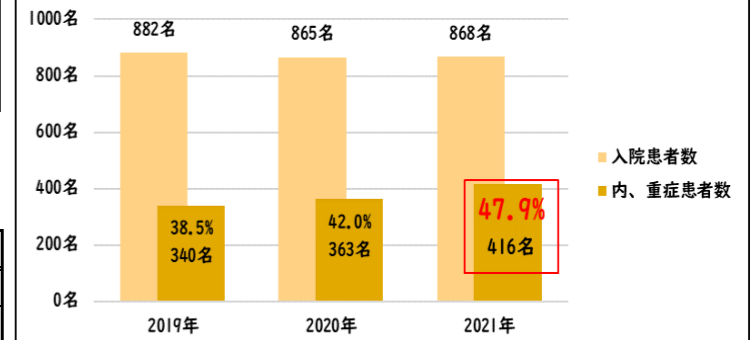
## FIMとは

「Functional Independence Measure」略語で、日本語で「機能的自立度評価法」という意味になります。FIMの評価項目は、運動項目と認知項目の計18項目で、各項目を1点~7点の7段階で評価します。コミュニケーションや社会的認知などの認知項目を含むため、実際に日常生活で行っている動作を評価する、変化を確認するのに最適な評価方法です。

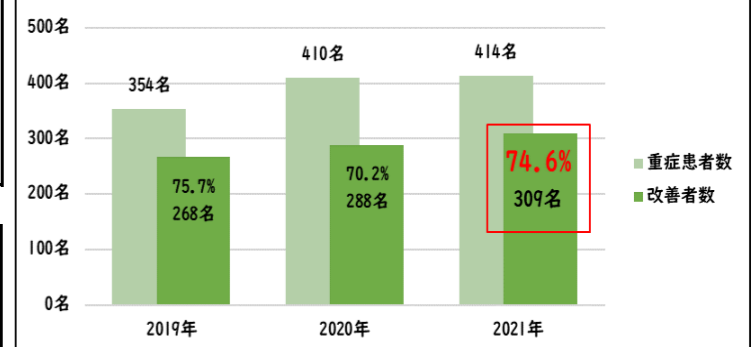
## ADLとは

「Activities of Daily Living」の略語で、日本語では「日常生活動作」という意味になります。日常生活を送るために最低限必要な日常動作で、「起居・移乗・移動・食事・更衣・排泄・入浴・整容」といった動作のことです。

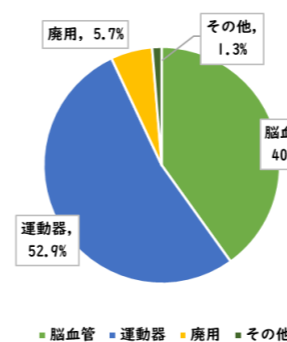
## ③ 入院患者数に占める重症患者割合



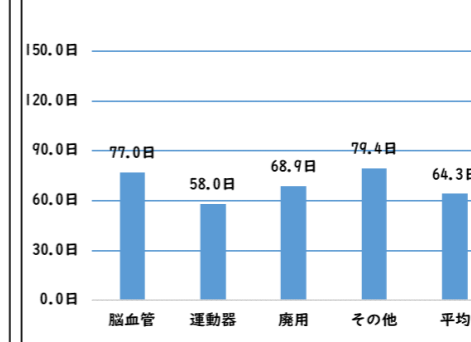
## ④ 退院時重症者数に占める改善率



## 疾患別入院割合（2021年）



## 平均在院日数（2021年）



重症患者の受入れは年々増加していますが、退院時の改善率は74.6%と非常に高い実績となっています。一般的に発症から入棟までの期間が短いほど、高い改善が認められると言われており、病状の安定した患者様を早期に受け入れられるよう急性期病院と連携を強化しています。

Pick up!

## 施設基準と当院の特徴について

回復期リハビリテーション病棟入院料は1~6まで6段階あり、当院は最も重症な方への対応が可能な入院料Iを算定しています。人員配置が手厚いだけでなく、高い実績要件が設定されています。

当院は2001年開院で、回復期リハビリ病院としては歴史が長く、180床(45床×4病棟)すべてが回復期リハビリテーション病棟となっています。

全病棟に専従医・医療ソーシャルワーカーが配置されているなど、施設基準以上に手厚い人員配置を行っています。

## 回復期リハビリテーション病棟入院料の施設基準等について

|                           | 入院料1                      | 入院料2     | 入院料3               | 入院料4     | 入院料5     | 入院料6     |
|---------------------------|---------------------------|----------|--------------------|----------|----------|----------|
| 医師                        | 専任常勤1名以上                  |          | 専任常勤1名以上           |          |          |          |
| 看護職員                      | 1.3対1以上(7割以上が看護)          |          | 1.5対1以上(4割以上が看護)   |          |          |          |
| 看護補助者                     | 3.0対1以上                   |          |                    |          |          |          |
| リハビリ専門職                   | 専従常勤のPT3名以上、OT2名以上、ST1名以上 |          | 専従常勤のPT2名以上、OT1名以上 |          |          |          |
| 社会福祉士                     | 専任常勤1名以上                  |          |                    |          |          |          |
| 管理栄養士                     | 専任常勤1名                    |          |                    |          |          |          |
| リハビリ計画書の策定項目記載            | 必須                        |          |                    |          |          |          |
| リハビリテーション実施回数等の院内報告率による公開 | ○                         |          |                    |          |          |          |
| データ提出加算の届出                | ○(※経路確保あり)                |          |                    |          |          |          |
| 休日リハビリテーション               | ○                         |          |                    |          |          |          |
| 「重症者」(※1)の割合              | 3割以上                      |          | 2割以上               |          |          |          |
| 重症者に対する退院時の日常生活機能評価※2     | 3割以上が4点(16点)以上改善          |          | 3割以上が3点(12点)以上改善   |          |          |          |
| 自宅等に退院する割合                | 7割以上                      |          |                    |          |          |          |
| リハビリテーション実績指数             | 40以上                      |          | 35以上               |          |          |          |
| 床単                        | 2,129点                    | 2,066点   | 1,899点             | 1,841点   | 1,736点   | 1,678点   |
| ※1 0以内は生活費を受け取る場合         | (2,115点)                  | (2,051点) | (1,884点)           | (1,827点) | (1,721点) | (1,664点) |

2021年3月までは上記の施設基準ですが、2022年4月に診療報酬改定があり、重症者の割合が4割以上へ見直されます。

News

## 「病院最前線 2022」への掲載について

毎日ムック **病院最前線2022 10周年記念特別号**(毎日新聞出版発行、2022年1月31日発売)に当院が掲載されました。

また、「名医を探せ!」病院検索サイトのリハビリテーション部門にも当院が掲載されています。

下記QRコードより、当院の記事が確認できます。ぜひご覧ください。

## 「病院検索サイト」

掲載期間：2023年1月まで



こちらのQRコードより当院の掲載ページにアクセスできます。

独自調査 4279 データ掲載 10年連続

脳神経外科 眼科  
心臓血管外科 循環器  
外科 消化器外科  
整形外科 泌尿器科

注目 専門医療 特集

# 「認知症サポート委員会」

「認知症サポート委員会」は、近年、認知症の患者様が aumentando 中で、安心かつ安全な入院生活を提供するために、認知症ケアチームが患者様に介入して支援体制を整え、認知症ケアの質の向上を目標に活動しています。



数年前より、認知症やせん妄の患者様に対して月1回程度回診し、情報共有や支援体制について検討する「サポートチーム」として活動を行っていましたが、脳神経内科医の入職をきっかけに、2019年4月より「認知症サポート委員会」として発足。回復期リハビリ病院として患者様がより良い状態でリハビリに専念できるよう、認知症ケアの質の向上に取り組んでいます。



## 具体的な活動内容・役割等

- ①メンバー：脳神経内科専門医、病棟看護師長、各病棟主任看護師、研修を終えた看護職、リハビリセラピスト
- ②委員会の開催：月1回。認知症ケアに関する問題や対策について検討。  
院外研修の推進や院内研修の企画実施、各病棟の対象患者様の把握、実績報告・評価。  
現場の問題や課題についての情報共有など。
- ③カンファレンスの実施：週1回。患者様の背景、BPSD※ について様々な要因を検討し、ケアの見直しやアドバイスを行う。
- ④その他、日々の業務の中でも、脳神経内科医が認知症・せん妄の患者様の情報収集や、適宜回診を行うほか、各病棟の委員や看護師と情報交換を行い、対策を検討。

※BPSDとは・・・行動、心理症状(せん妄・抑うつ・興奮・徘徊・睡眠障害・妄想 他)

認知症ケアは、少数の職員の知識や対応だけではうまくいきません。全ての職種、職員が力を合わせて初めて改善します。超高齢化が進むにつれて、認知症の患者様、せん妄を発症する患者様が aumentando 中で、職員の知識の向上に努め、患者様へ寄り添い、本当に必要としているケアを職員とともに考えています。

認知症サポート委員会では、認知症ケアのやりがいや楽しさを経験・共有し、患者様のBPSDやせん妄が改善するよう最善のケアを実践することで、患者様も職員も笑顔になれるようチームとして活動しています。

健診  
センター  
より

## 女性のための健診 始まります！

総生会健診センターでは、4月より女性のための健診を本格的に開始いたします。

昨年9月に、最新マンモグラフィ機器を導入して乳がん検診がリニューアル。今年2月からは、40歳未満の女性の乳がん検診や、マンモグラフィとセットの精度の高い乳がん検診をご希望の方のために「乳房超音波検査」も開始いたしました。

そして4月からは「子宮がん検診」を始めとする女性のための健診が始まります。

川崎市健診などに合わせて、婦人科系の疾患を見つける超音波検査や、ブライダル検査～更年期症状、フレイル予防を意識したシルバー世代の女性の健診メニューも取り揃えております。



詳細は総生会健診センターホームページにてご確認ください。  
お問合せ・お申し込みは  
お電話または当センター受付にて承ります。



総生会健診センター  
ご予約専用電話

電話：044-981-6863

受付時間：9:30～17:00

(月～土曜日)日曜、祝日除く

健診実施日：毎週水曜日・土曜日(第2・第4)

